

ハーバード大学 T.H.Chan 公衆衛生大学院 との交流

(1) 武見フェロー帰国報告会

2019 - 2020 年度の武見フェロー帰国報告会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、動画による研究成果の報告を行った。2020（令和2）年8月、中込敦士氏（千葉大学大学院医学研究院循環器内科医員）による「死別後のうつをソーシャルキャピタルは緩和するか」、小熊妙子氏（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学特任助教）による「アジア地域の HIV 関連スティグマほか」を本会ウェブサイトに掲載した。

(2) 日本人武見フェローの選考

2020 - 2021 年度の武見フェローは、2020 - 2021 年度がリモート、2021 - 2022 年度は現地で武見プログラムに参加する形式を採ることとなった。そのため、2021 - 2022 年度の日本人武見フェローは募集しないこととなり、選考は実施しなかった。